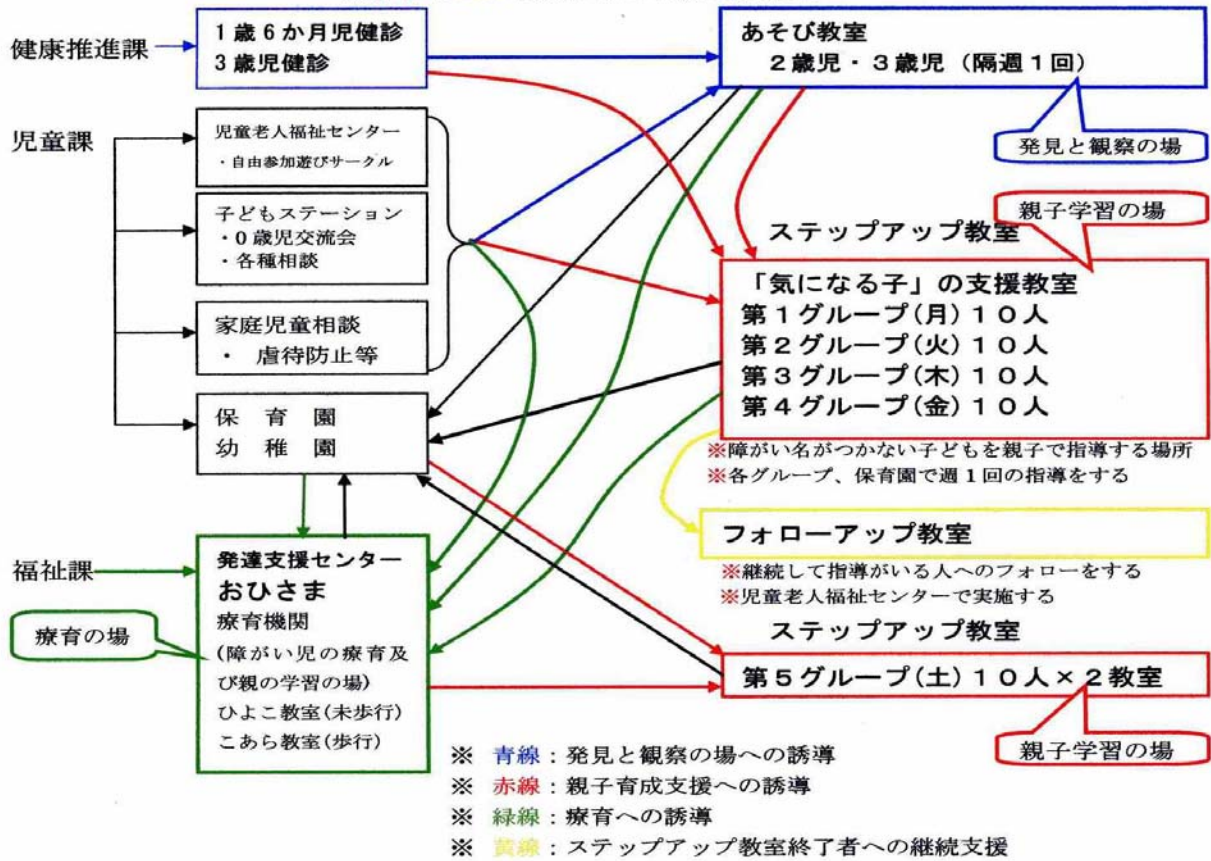


「気になる子」の子育て支援計画

※赤枠と黄枠部分が親子育成支援教室



親子育成支援教室 ジョイジョイの実施状況



自由遊び



親子遊び(主活動)



大府市における気になるお子さんへの子育て支援

《ペアレントトレーニングの実施》

〈対象〉

- 1歳から3歳のお子さんを持つ保護者で子育てに困難さを感じている方（1講座10名程度）

〈方法〉

- お子さんの特性を理解し、親自らが意識を変えながら子育ての仕方を学んでいく。また、他の保護者との意見交換の中から自分の努力を認識していく。
- 『ほめ育てプログラム』

〈講座内容〉

- 5回講座 90分/回 無料
- 講師：中京大学社会学部教授 辻井正次氏

⇒ 将来的には保育士で対応できるよう準備中

※ 国のモデル事業を活用(19年度は市民向けの特別講座(4回)も実施)
大府市における気になるお子さんへの子育て支援

《個別の教育支援計画「すくすく」の実施》

- 小学校や保育園等において、日常生活の中で個別の支援を必要とするお子さんの情報を記録し、小学校や中学校での継続的な支援につなげる。
- 支援を必要とするお子さんのうち、保護者の了解を得て記録を作成。
- 保育指針にある保育要録との連携をとり様式を作成。
- 19年度データを20年度小学校へ送付。

いっしょにはじめましょう

お子さんの個性に合わせた計画的・継続的な支援

ささえる 実態や特性に合わせた支援によって、特別な教育的ニーズをもつお子さんと、子育てに携わる保護者の力を支えます。

そだてる 乳幼児期から中学校卒業まで、個別の教育支援計画を用い、保護者の方といっしょにお子さんにかかわる者・機関が適切な役割分担と連携のもとに、一貫して計画的にお子さんを育てます。

つながる 保育園・幼稚園・小学校・中学校が連携することで、お子さんの実態・特性や教育的支援の目標・内容等の情報を共有し、継続的に適切な支援をめざします。さらに、保育・教育、保健、福祉、医療、労働等にかかわる機関が相互につながり、お子さんを支援します。

すくすく

個別の教育支援計画



大府市・大府市教育委員会

大府市における気になるお子さんへの子育て支援

《気になるお子さんの子育て支援・今後の課題①》

- 市全体での支援体制の維持・拡充
- 発達障がいを取り巻く環境を理解し、市全体をコーディネートできる人材の継続的な確保
- 支援の場面での専門性を持った人材(臨床心理士、作業療法士、言語聴覚士、医師など)の確保と育成
- 早期発見体制の充実
- 気になるお子さん親子を取り巻く環境(支援する各組織)での考え方と言葉の共通化(連携のとれた支援体制の確立)
- 個々の家庭で家族を含めたトータルな支援体制の整備促進
- 支援場所の移行時における連携体制の確立
- 自立支援協議会との連携(お子さんのライフステージに応じた一貫した支援体制の整備)

大府市における気になるお子さんへの子育て支援

《気になるお子さんの子育て支援・今後の課題②》

- 発達障がいを含む子どもの発達に対する正しい理解の普及
 - ・発達障がいなどが、個々の育ちの特性であることを啓発
 - ・親子育成支援事業やペアレントトレーニングがお子さん
に与える好影響を積極的にPR
 - ・保護者の方々へお子さんの状況を正しく伝え、生育の現
状と見通しを適切に伝えることにより、保護者の方々の
安心と覚悟につなげる
- 相互理解に支えられた**共生社会の実現**という思想を根底に持ち続けること

大府市における気になるお子さんへの子育て支援